

身近な川や海についての県民アンケート 調査結果

平成 17 年 10 月

目 次

1 . 県民意識調査の概要	1
2 . 水辺とのかかわりについて	2
(1) 水辺へ出かける頻度	2
(2) 出かける水辺との関係	2
(3) 水辺のよいところ	5
(4) 水辺への不満	6
3 . 水辺の水質、水量について	9
(1) 水辺の水質	9
(2) 水辺の水が汚れている理由	10
(3) 水辺の水量	11
(4) 水辺の水量として希望するレベル	11
4 . 水辺の緑、生きもの、景観について	12
(1) 水辺の水辺やその周辺の緑について	12
(2) 水辺の生きものについて	13
(3) 水辺の景観について	14
(4) 水辺の緑、生きもの、景観について	14
5 . 水辺の保全活動について	15
(1) 水辺をよくするためにできること	15
(2) 保全活動への参加	17
(3) 環境保全活動参加への促進策について	18
6 . 費用負担について	20
(1) 費用負担意志について	20
(2) 費用負担額について	21
7 . まとめ	22
資料編 身近な川や海などについてのアンケート調査票	23

1. 県民意識調査の概要

(1) 調査目的

水辺などの水の汚れや水辺環境等に対する県民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。

(2) 主な調査項目

- 水辺とのかかわりについて
- 水辺の水質、水量について
- 水辺の緑、生きもの、景観について
- 水辺の保全活動について
- 費用負担について

(3) 調査対象

- 母集団 愛知県民
- 標本数 4,138
- 抽出方法 各市町村の世帯数に応じて市町村ごとに抽出数を決定した(ただし、名古屋市の抽出数は500とした)。各市町村の抽出数に応じ電話帳から無作為に抽出した。

(4) 調査時期

平成17年8月26日 ~ 平成17年9月9日(9月15日到着分まで有効とした。)

(5) 調査方法

郵送による配布、回収

(6) 回収結果

有効回収数(率)は、1,594人(39.9%)であった。内訳を、表1-1に示す。

性別は、男性が1,201票と75.3%を占めている。年齢的には60歳代が最も多く505票と31.7%を占めており、これに50歳代と70歳代以上が続いている。50歳代から70歳代以上をあわせると、回答者全体の80.5%を占めることになる。

地域別にみると、尾張地域が942票と59.1%を占め、西三河地域が454票で28.5%、東三河が198票で12.4%となっている。

表 1-1 回収結果内訳

		回収数			地域分類			
		合計	男性	女性	合計	尾張	東三河	西三河
年齢	20歳未満	10	7	3	10	7	3	-
	20歳代	22	13	9	22	14	7	1
	30歳代	91	45	46	91	45	36	10
	40歳代	188	123	65	188	95	67	26
	50歳代	396	269	127	396	238	113	45
	60歳代	505	409	96	505	312	124	69
	70歳代	382	335	47	380	231	104	47
	合計	1,594	1,201	393	1,592	942	454	198

2. 水辺とのかかわりについて

(1) 水辺へ出かける頻度

水辺などへ行くことがあるか尋ねたところ、「行く」と答えた人は 1,048 人（65.7%）であったが、出かける頻度は「年に数回程度」と答えた人が 475 人（45.8%）、次いで「月に数日程度」が 288 人（27.8%）、「週に数日程度」が 151 人（14.6%）となっていた。

この傾向はどの地域においてもほぼ同様であるが、東三河地域においては、水辺へ「行く」人の割合が高く、なかでも「月に数日程度」の占める割合がやや高くなっている。

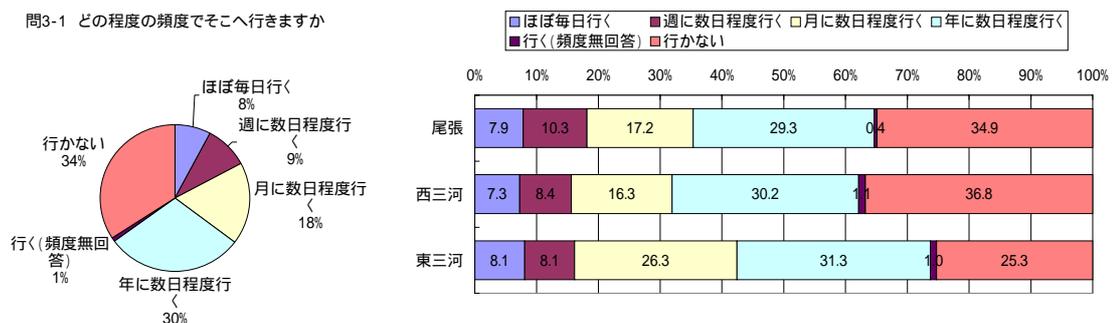


図 2-1 水辺へ出かける頻度

また、年齢別にみると、20 歳代、30 歳代、40 歳代は、「ほぼ毎日」及び「週に数日程度」の日常的に水辺へ出かける人の割合が少ない。

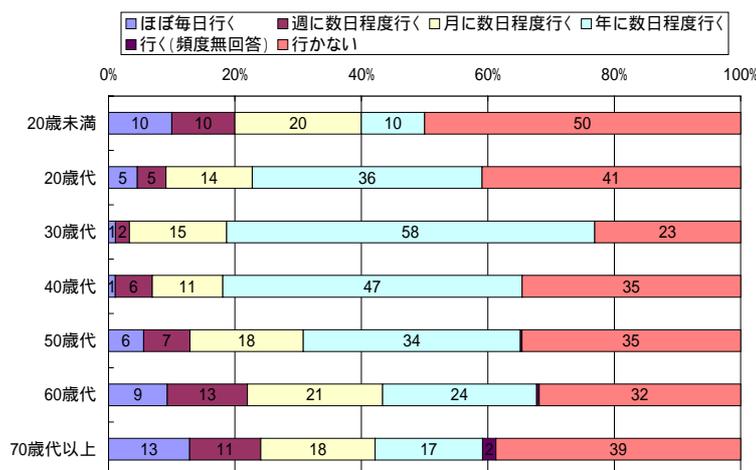


図 2-2 水辺へ出かける頻度（年齢別）

(2) 出かける水辺との関係

水辺などへ行くことがあると答えた人は、大河川や中小河川の水辺へ出かける人が多く、616 人と設問回答者全体の 59.2% を占める。次に 284 人（27.3%）の人が海へ出かけている。

地域別に見ると、尾張地域や西三河地域では中小河川へ出かける人の割合が最も高いが、東三河では、海へ出かける人の割合が高く設問回答者全体の 34.0% を占めている。

また、年齢別に見ると、低年齢層ほど海へ出かける率が高く、高年齢層ほど中小河川へ出かける割合が高くなっている。20 歳未満は大河川へ出かける率が高いが、20 歳未満の回答数が 10 であり、他の年齢層に比較して少ない。

問3-2 それはどのようなところですか
(主なものを一つ選んでください)

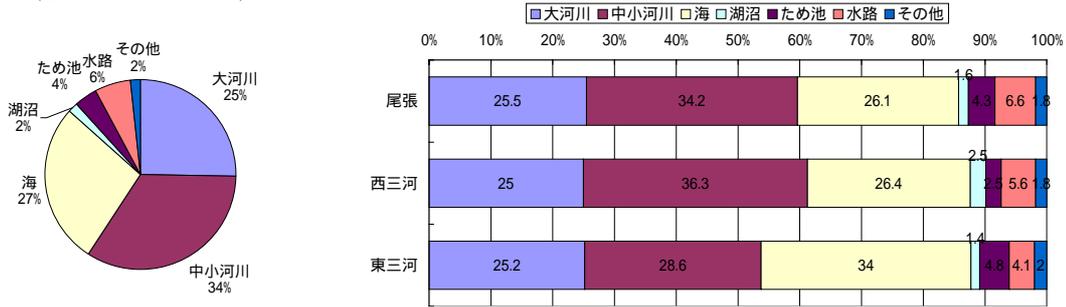


図 2-3 出かける水辺の種類

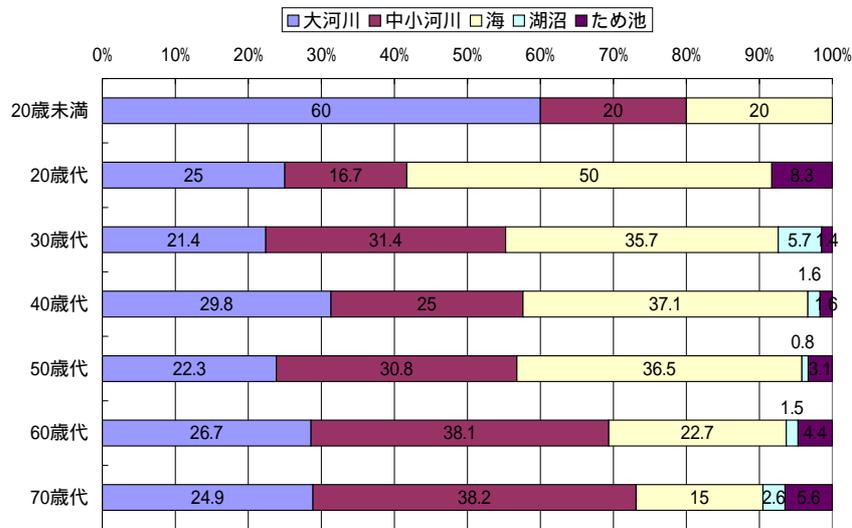


図 2-4 出かける水辺の種類（年齢別）

水辺へ出かける目的は、「散歩」が6割近くを占めており、「釣り」「水遊び」の順となっている。

地域別にみると、「散歩」の割合は、尾張地域で高い。また、「釣り」の割合は、西三河地域で高いが、東三河地域ではやや低くなっている。「水遊び」については、西三河地域が多くなっている。



図 2-5 水辺へ出かける目的

水辺の種類別で見ると、海では「散歩」の占める割合が他よりも低くなっており、「水遊び」や「釣り」のために出かける人が多いことがわかる。また、湖沼でも「釣り」のために出かける人の割合が高い。また、「清掃」は、大川よりも中小河川や水路での活動が目立つ。

また、川での活動を距離別にみると「散歩」「バードウォッチング」「清掃」は「歩いていける程度」の水辺で行なわれており、「水遊び」「釣り」「スポーツ」は「車で行く程度」の水辺で行なわれていることがわかる。

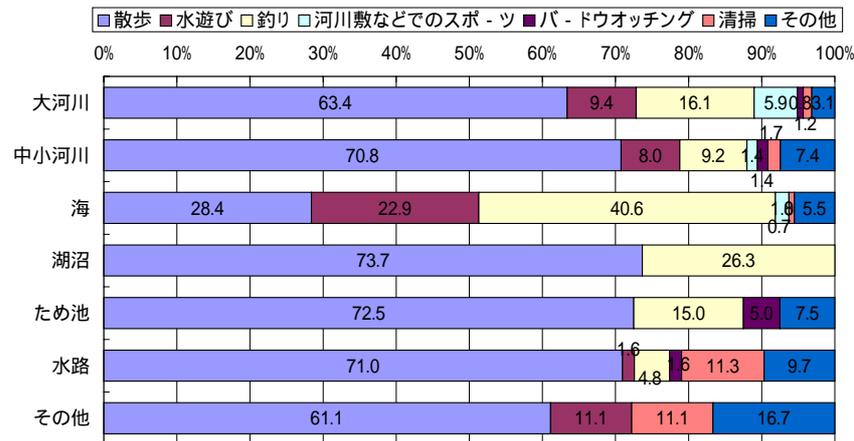


図 2-6 出かける水辺と行く目的

水辺への距離については、全体では「車で行ける程度」と答える人が最も多く、次に「歩いていける程度」が続く。これらの合計で設問回答者全体の 9 割以上を占める。

地域別には、あまり差はなかった。

水辺の種類別で見ると、「車で行く程度」の海へ行く人が 23%、「歩いていける程度」の中小河川へ行く人が 22%、「車で行く程度」の大川へ行く人が 14%となっている。

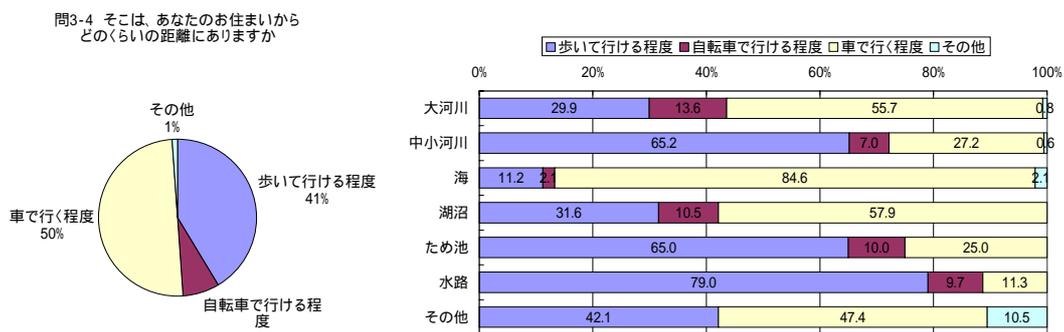


図 2-7 出かける水辺の距離

(3) 水辺のよいところ

水辺などへ行くことがあると答えた人に、そのどのようなところがよいと思うかを尋ねたところ（複数回答あり）「家に近い」が最も多い。他に「緑がある」「景色がよい」「広い空間がある」「水がきれい」「釣りができる」などが選ばれている。

地域別にみると、尾張地域では「家に近い」、西三河地域では「水がきれい」、東三河地域では「釣りができる」「水辺に近づきやすい」と回答した人の割合が高い。

水辺の種類別にみると、大河川では「緑がある」「景色がよい」「広い空間がある」が挙げられている。中小河川では「緑がある」「家に近い」が、海では「釣りができる」「景色がよい」「広い空間がある」が挙げられている。

問3-5 訪れる水辺のどのようなところがよいと思いますか(2つまで選択)

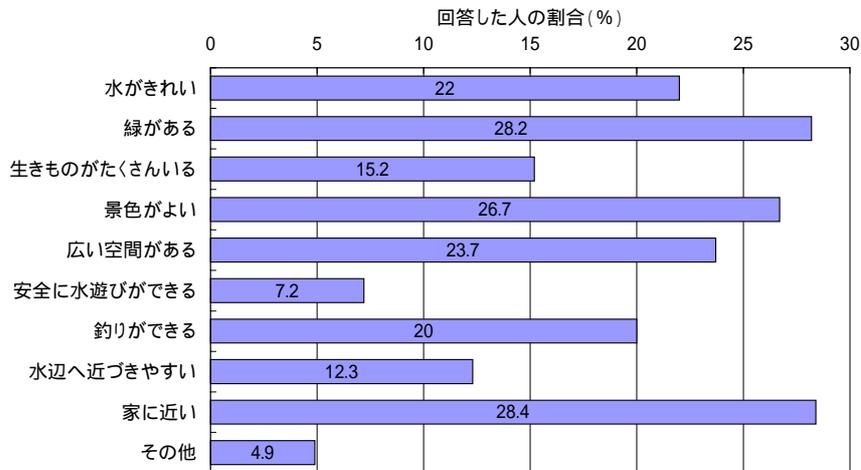


図 2-8 出かける水辺のよいところ

問3-5 訪れる水辺のどのようなところがよいと思いますか(2つまで選択)

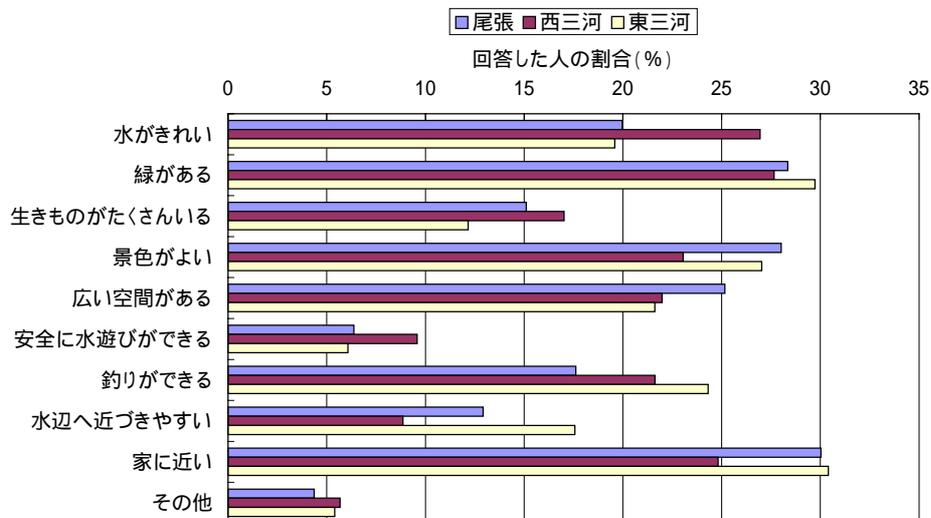


図 2-9 出かける水辺のよいところ（地域別）

問3-5 訪れる水辺のどういところがよいと思いますか(2つまで選択)

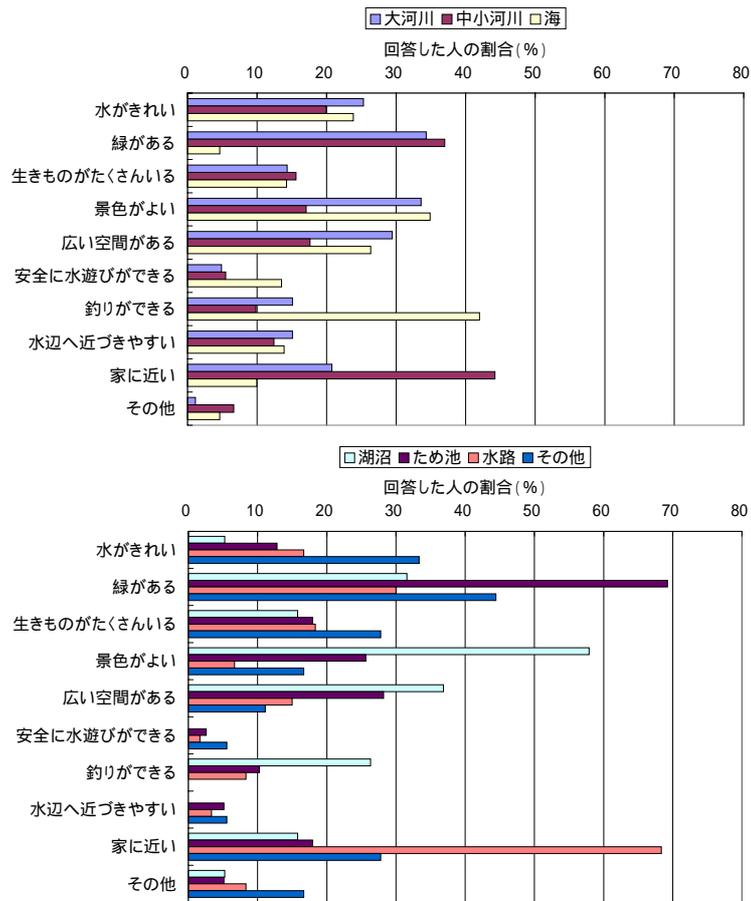


図 2-10 出かける水辺のよいところ(水辺の種類別)

(4) 水辺への不満

水辺へ行くと回答した人のうち、不満があるとしたらどういうところが訊ねたところ(2つまで回答を選択)、「ごみが落ちている」「水が汚れている」「岸辺がコンクリートなどで覆われている」が多かった。地域別にみても、ほぼ同様の傾向である。

問3-6 不満があるとしたらどういうところですか(2つまで回答)

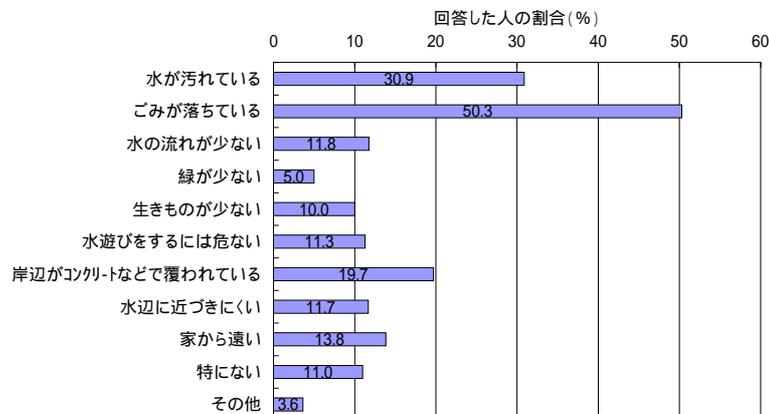


図 2-11 水辺への不満

水辺の種類別に見ると、湖沼やため池、水路を想定している人は、「水が汚れている」と回答している割合が高い。海や湖沼、水路では「ごみが落ちている」と回答している人の割合が高い。また、水路で「岸辺がコンクリートなどで覆われている」と回答している人の割合も高くなっている。

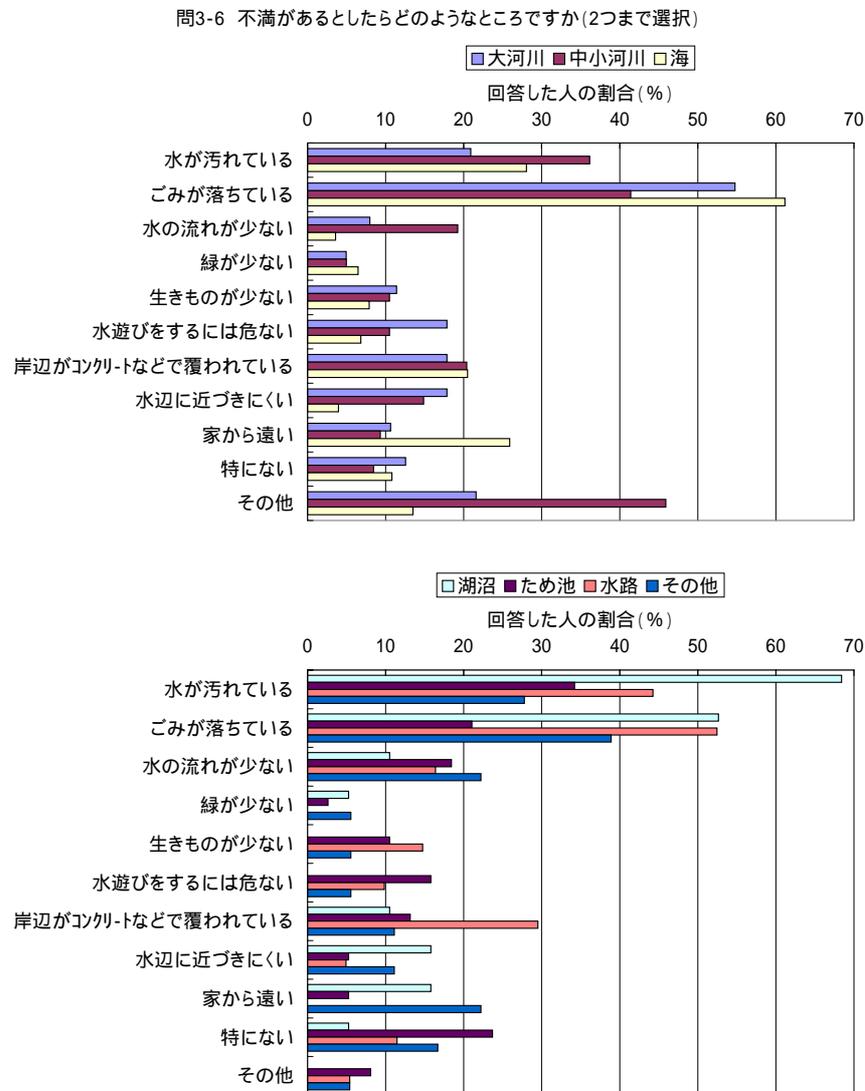


図 2-12 出かける水辺の不満なところ(水辺の種類別)

一方、水辺などへ行くことがないと答えた人のうち、「行くきっかけがない」と答えた人は6割以上であり、「家の近くに水辺がない」が32%、「行く時間がない」「関心がない」が2割程度である。これらは、水循環のための施策の効果と直接的に結びつけることは難しいものであるが、「水が汚れている」という理由も19.1%の人が挙げている(2つまで回答を選択)。

問4 水辺に行かないのはなぜですか(2つまで選択)

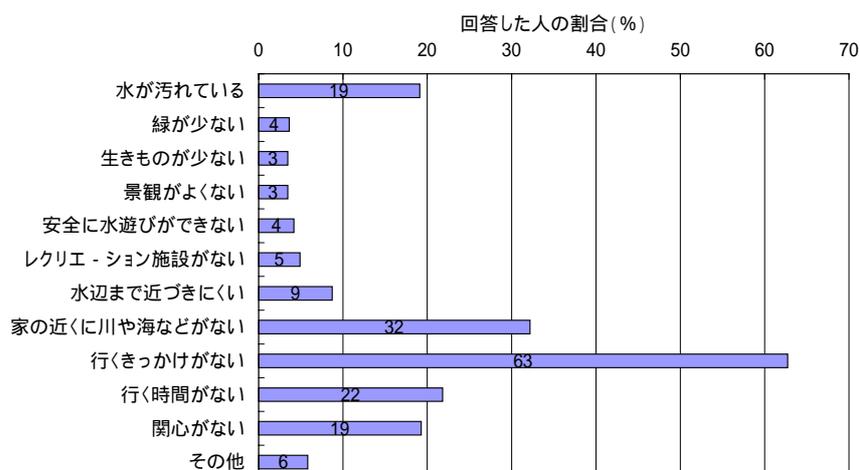


図 2-13 水辺へ行かない理由

地域別に見ると、「行くきっかけがない」や「家の近くに水辺などが無い」「行く時間がない」「関心がない」などが多い傾向はほぼ同様であるが、それぞれの割合に差が出ている。「家の近くに水辺などが無い」との回答は、尾張地域に多いが、これらは、都市部に住み、車を利用する習慣のあまりない人々の意見であると考えられる。「関心がない」との回答は、尾張地域では「水が汚れている」よりも割合が低いが、西三河地域、東三河地域では「関心がない」ことを理由に挙げる人が2割以上いる。特に東三河地域においては、「家の近くに水辺がない」との理由は20.0%と他の地域の3割超と比較して低い。

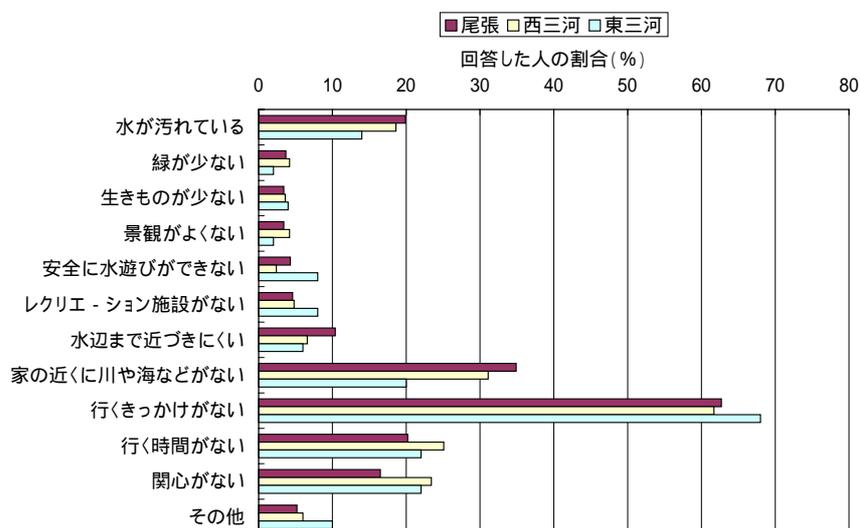


図 2-14 水辺へ行かない理由(地域別)

3. 水辺の水質、水量について

(1) 水辺の水質

想定している水や川の水質をどのように感じているか尋ねたところ、「やや汚れている」と考えている人が415人(40.6%)と最も多いが、「ややきれい」と考えている人も327人と3割以上いる。「非常にきれい」と考えている人は94人で9.2%であるが、「非常に汚れている」と考える人のほうが125人で12.5%と多くなっている。

地域別にみると、「非常にきれい」と回答した人の割合が、東三河、西三河、尾張の順で高くなっており、河川水質を反映しているといえる。

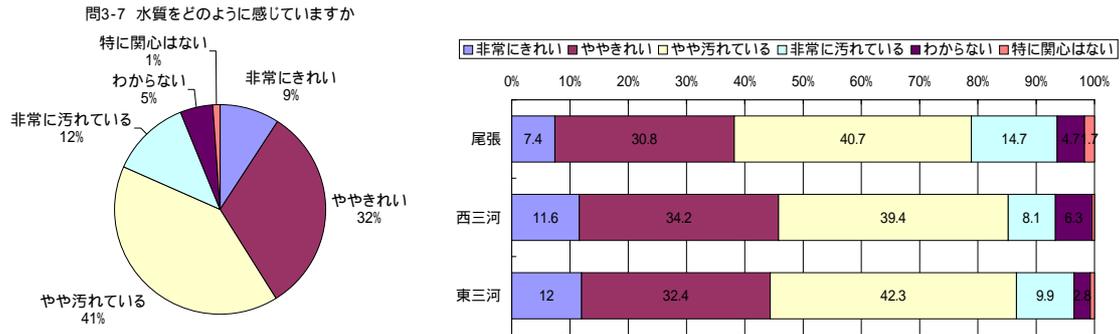


図 3-1 水辺の水質

想定している水辺の種類別にみると、水が「やや汚れている」「非常に汚れている」と考える人は「中小河川」「湖沼」「ため池」「水路」など、を挙げている人では、特に多くなっていた。

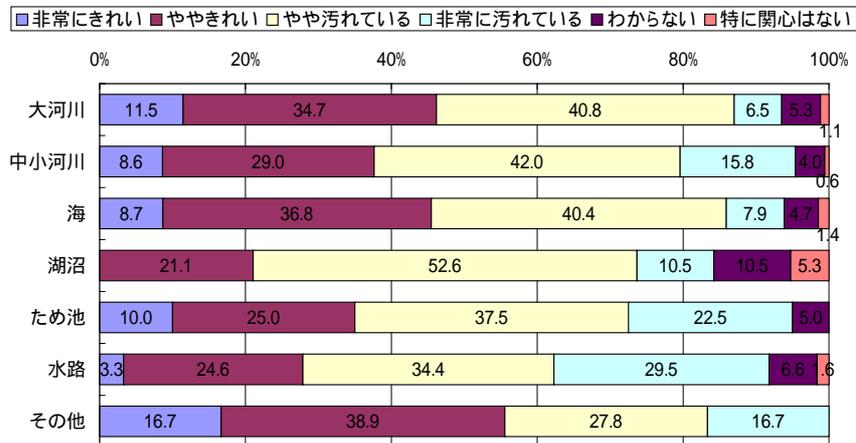


図 3-2 出かける水辺とその水質

(2) 水辺の水が汚れている理由

水が「非常に汚れている」またな「やや汚れている」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「水が濁っている」が最も多く 174 票 (32.2%) であるが、「ごみが浮いている」140 票 (25.9%) 「川底がきたない」114 票 (21.1%) などの理由が続いている。

地域別にみると、東三河は全体平均とやや異なった傾向を示しており、「ごみが浮いている」が最も多く、次いで「川底がきたない」「水が濁っている」となっている。ここでも、東三河地域は他の地域と比較して、河川水質がよいことが影響していると思われる。また、「赤潮、アオコが発生している」との割合は、三河湾の赤潮、油ヶ淵のアオコの影響から、東三河地域、尾張地域では西三河地域と大きく異なっている。

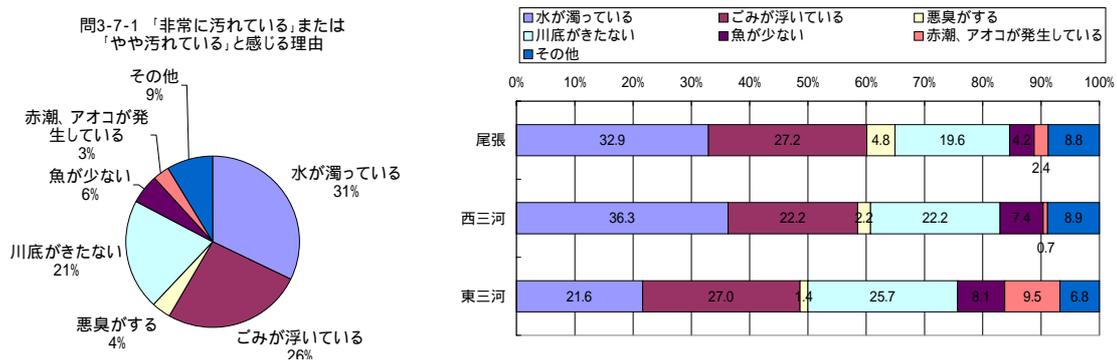


図 3-3 水辺が汚れていると感じる理由

水辺の種類別でみると、海、ため池、湖沼では「水が濁っている」という割合が高く、大河川、中小河川、水路では「川底が汚い」という割合が高い。また、湖沼、ため池では「赤潮、アオコが発生している」という割合が高い。

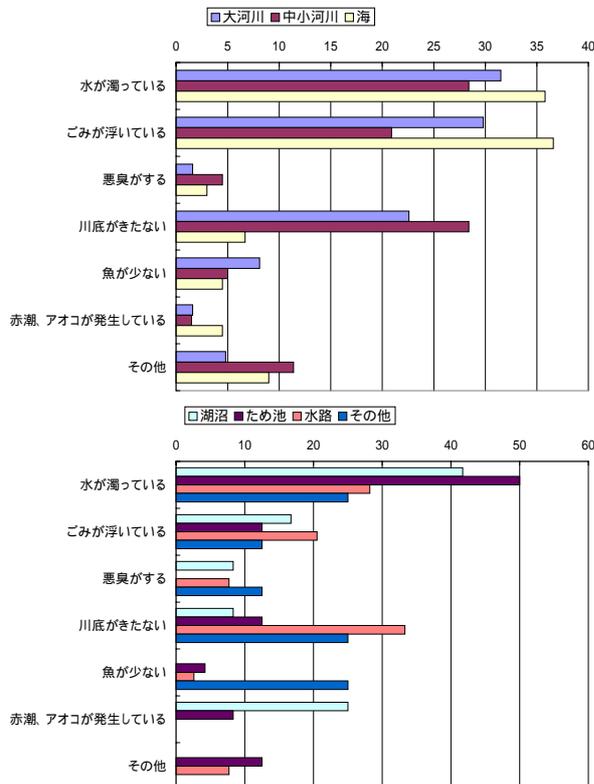


図 3-4 水辺が汚れていると感じる理由 (水辺の種類別)

(3) 水辺の水量

水量については、5割以上の人々が「普通」と感じているが、「多い」「非常に多い」と答えた人が約1割であるのに対し、「少ない」「非常に少ない」と感じている人が25%となっている。

地域別にみると、尾張地域では、「非常に多い」「多い」と答える人の割合が、西三河、東三河地域よりも高い。

水辺の種類別に見ると、中小河川や水路で水量が「少ない」と感じている人が多い。

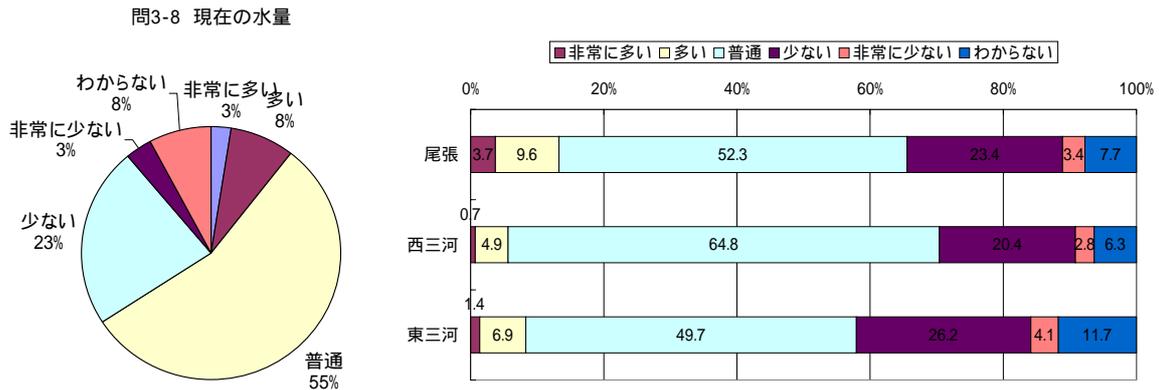


図 3-5 水辺の水量（地域別）

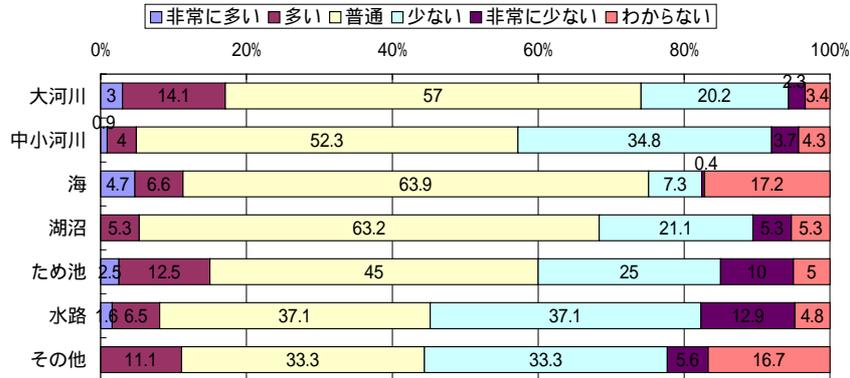


図 3-6 水辺の水量（水辺の種類別）

(4) 水辺の水量として希望するレベル

水辺の水量が「非常に少ない」または「少ない」と回答した人に水辺の水量として希望するレベルを尋ねたところ、「魚などの生きものが生息する」レベルを望む人が最も多く、5割を超えており、「川の流れの幅が広い」「水遊びができる」がそれに続いている。

地域別にみると、尾張地域では、「水遊びができる」ことを望む割合が高く、西三河、東三河地域では、「川の流れの幅が広い」ということを望んでいる割合が高い。

水辺の種類別に見ると、全問の回答者のうち無回答者が多くなり、中小河川、ため池、水路で「魚などの生き物が生息する」ことを望んでいる割合が高くなっている。大河川では、「魚などの生き物が生息する」を「川の流れの幅が広い」が上回っている。

問3-8-1 どの程度の水量だったらいいですか

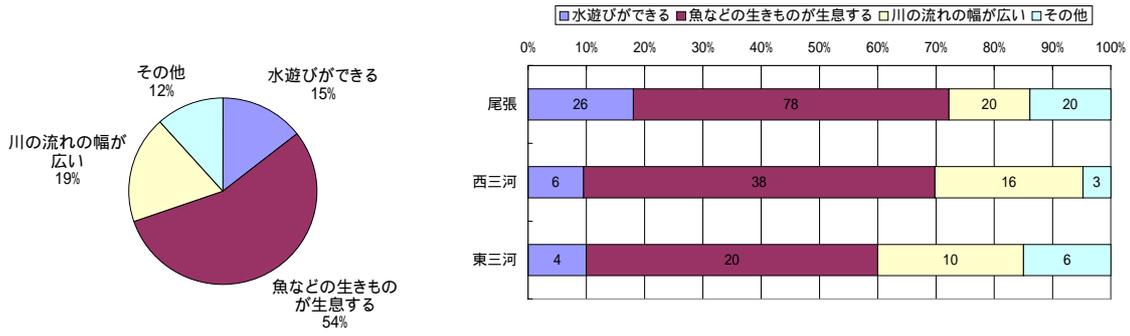


図 3-7 水量として希望するレベル

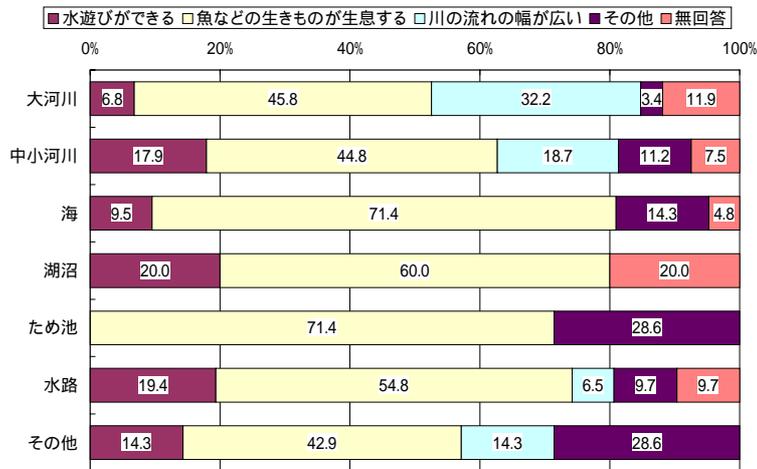


図 3-8 出かける水辺と水量として希望するレベル

4. 水辺の緑、生きもの、景観について

(1) 水辺の水辺やその周辺の緑について

「普通」と回答した人の割合が最も高く 43.5%であり、「豊かである」が 28.2%、「少ない」が 23.7%となっている。

地域別に見ると、3地域ともに「普通」と回答した人の割合は最も高いが、尾張地域では「少ない」と回答している人の割合の方が高く、西三河、東三河地域では「豊かである」と回答している人の割合が高い。

したがって、全体的に尾張地域に比べて、西三河、東三河地域の人々は、水辺及び水辺周辺の緑は豊かであると認識しているといえる。

また、水辺の種類別に見ると、大河川やため池では周辺の緑が「豊かである」と回答している割合が高いが、水路や海では「少ない」と受け取られている傾向にある。

問3-9-1 水辺の緑について

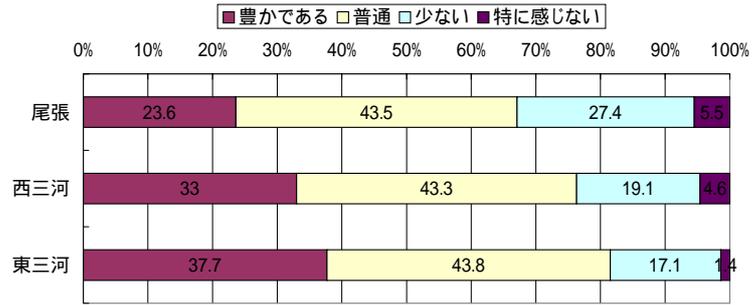
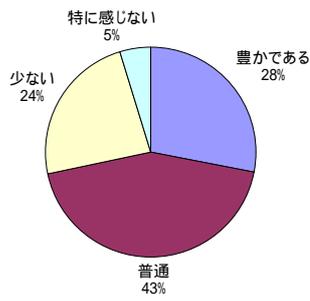


図 4-1 水辺の緑

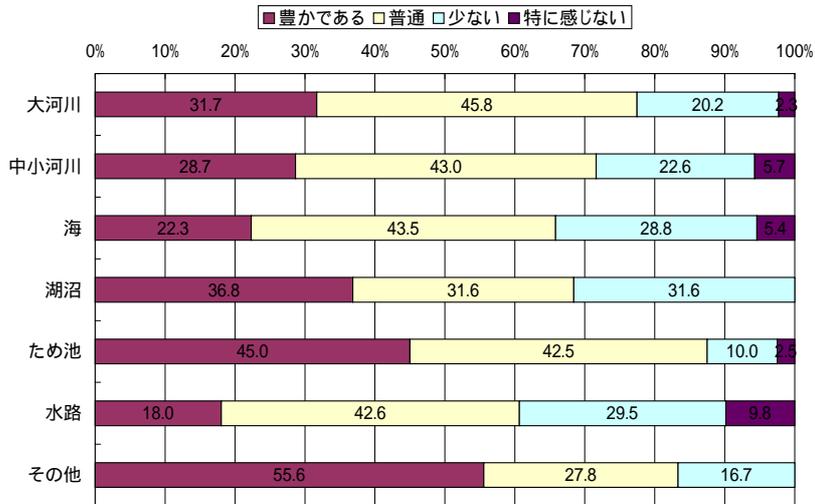


図 4-2 水辺の緑 (水辺の種類別)

(2) 水辺の生きものについて

「少ない」と回答した人の割合が最も高く 42.0%であり、「普通」が 39.2%である。地域別にみると、どの地域も同様の傾向を示している。

水辺の種類別に見ると、中小河川や水路の周辺に緑が少ないと回答している人が多い。

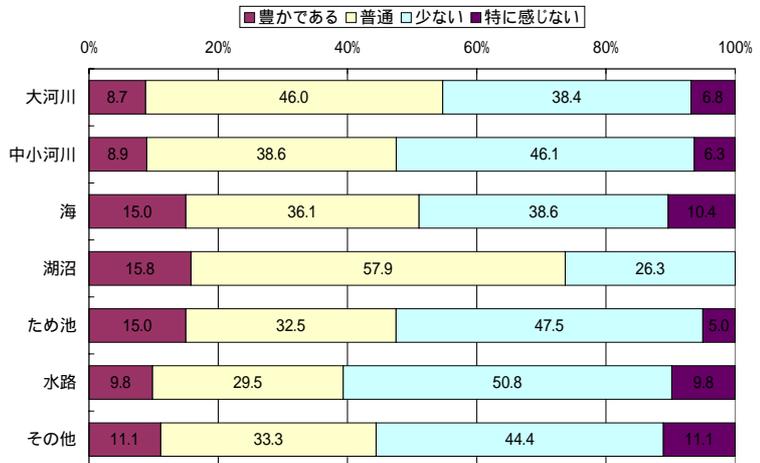
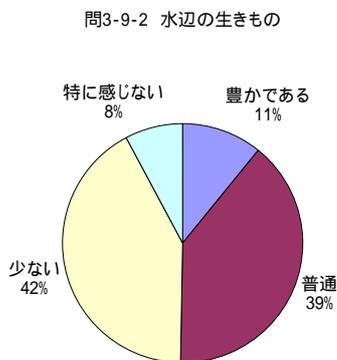


図 4-3 水辺の生きもの (水辺の種類別)

(3) 水辺の景観について

「普通」と回答した人の割合が最も高く、5割を超えている。「良い」が24.1%、「悪い」が19.5%である。

地域別にみると、どの地域も同様の傾向を示している。

水辺の種類別にみると、中小河川や水路周辺で景観が「悪い」と回答している人の割合が高い。

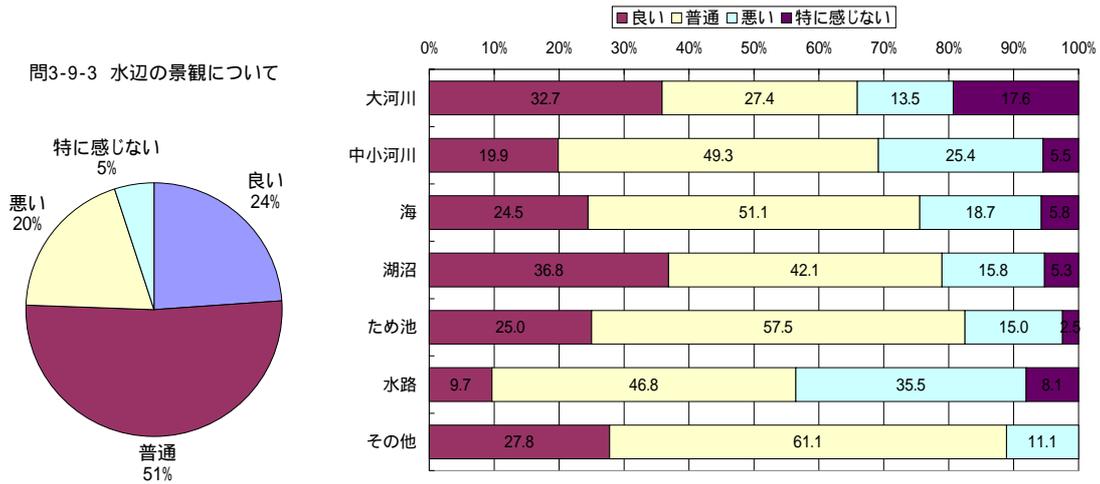


図 4-4 水辺の景観 (水辺の種類別)

(4) 水辺の緑、生きもの、景観について

水辺の水辺における「緑」「生きもの」「景観」について、「少ない」や「悪い」とのマイナス評価をした人の割合を比較した。現状に対して県民の評価が低いのは、「生きもの」「緑」「景観」の順であるといえる。

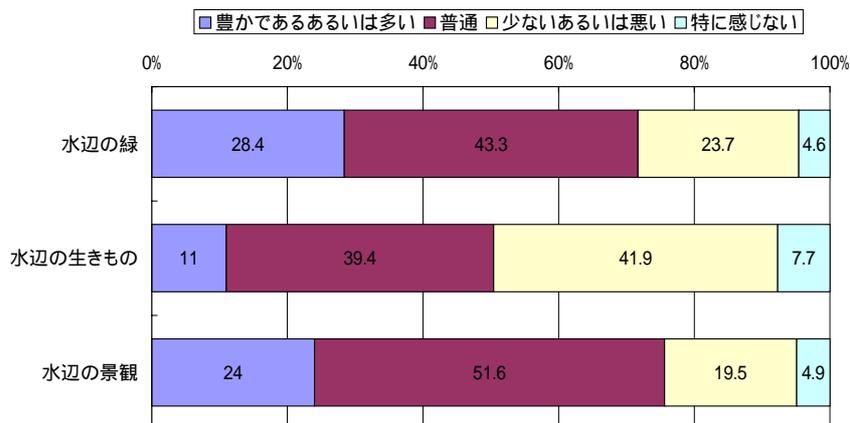


図 4-5 水辺の評価

5. 水辺の保全活動について

(1) 水辺をよくするためにできること

水辺をよくするためにできることについて、愛知県全体の回答結果を示す（できると思う回答を全て選択）。「台所や風呂などからの生活排水の汚れを減らす」や、節水、「子供に水辺の大切さを教える」はできる、と答えた人が5割を超えており、ごみ拾いへの参加もほぼ5割となっている。

しかし、「家の雨水枡を浸透性のものに取り替える」「間伐など山の手入れに協力する」などは、「できる」と答えている人が2割に満たない。しかし、これらは、集合住宅居住者や山林が身近にある、などの要素が影響しているものと考えられる。例えば、人工林の多い東三河地域では、「間伐などの山の手入れに協力する」人の割合が高くなっている。

また、「水辺での催し（行事、祭りなど）に参加することができる」と回答した人は、回答者のうちの25、26%であるが、「参加できる」とした人の割合が西三河地域で高い。これは、西三河地域で水にちなんだ祭りが数多く残っていることと関連している。今後は、水文化の継承のためにこれらの催しの保存や活用を効率的に行なうことが望ましいといえる。

なお、水が汚れている、あるいは水量が少ないなどの回答と、取組との間には関連は見られなかった。

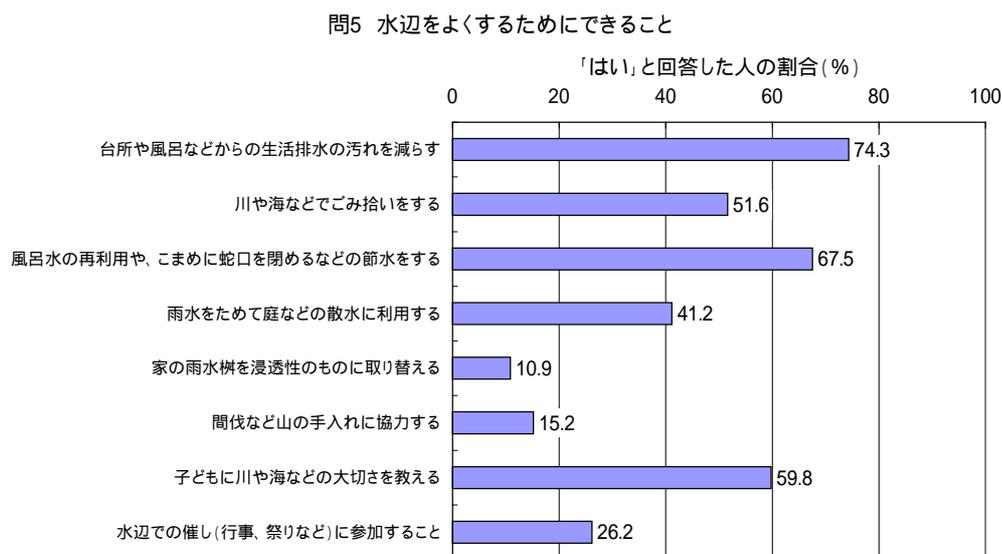


図 5-1 水辺をよくするための取組

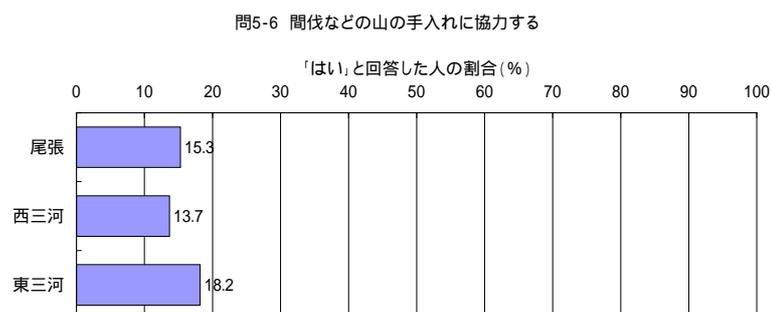


図 5-2 地域別の間伐など山の手入れに協力することができる人の割合

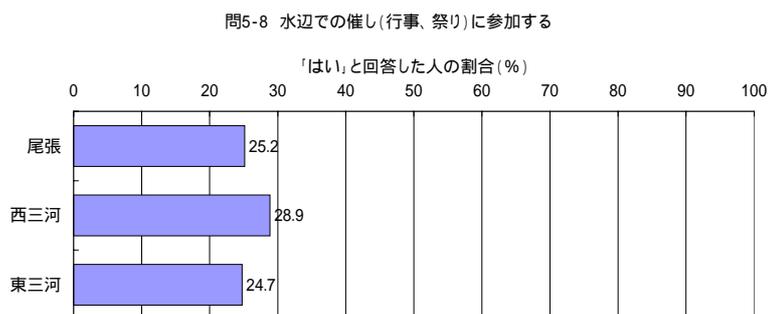


図 5-3 地域別の水辺での催し(行事、祭りなど)参加することができる人の割合

また、水辺へ行く人と行かない人の違いを見ると、「水辺でごみ拾いをする」や「間伐などの山の手入れに協力する」では、若干、「水辺へ行く」と回答した人の方が取組に積極的である、といえる。

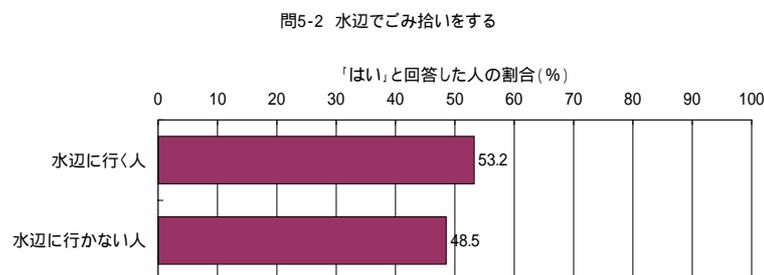


図 5-4 「水辺でごみ拾いができる人」の割合

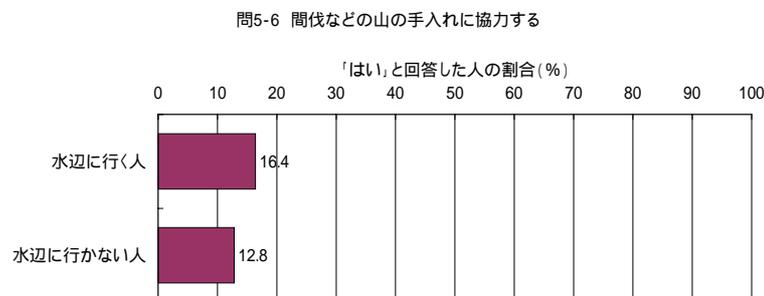


図 5-5 「間伐などの山の手入れに協力することができる人」の割合

また、水辺の好きなところとして「水がきれい」「釣りができる」と回答した人は、「子供に水の大切さを教えることができる」と回答している割合が高い。

しかし、水質の捉え方や水量の捉え方によって、取組に差は生じなかった。また、水辺周辺の緑や生きもの、景観の捉え方によっても、取組に差は生じなかった。

問5-7 子どもに水辺の大切さを教えることができる

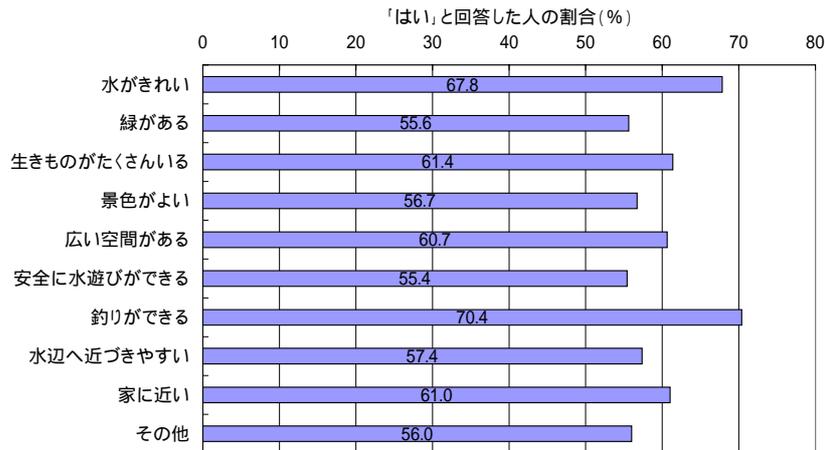


図 5-6 水辺の好きなおとこと「子供に水の大切さを教えることができる」

(2) 保全活動への参加

水環境の保全活動への参加状況及び意志を尋ねたところ、「既に参加している」人は 8.3% であった。「積極的に参加したい」「参加してもよい」をあわせると、全体で 6 割近くの人々の保全活動への参加の可能性があるといえる。

「あまり参加したくない」は 14.4%、「参加しない」は 13.0% であるが、「わからない」は 13.3% であった。

地域別に見ると、若干の差が見られ、尾張地域では「既に参加している」「積極的に参加したい」の割合が低いかわりに、「参加してもよい」の割合が高くなっている。受身ながら、活動参加者が増加する素地はある地域であると考えられる。

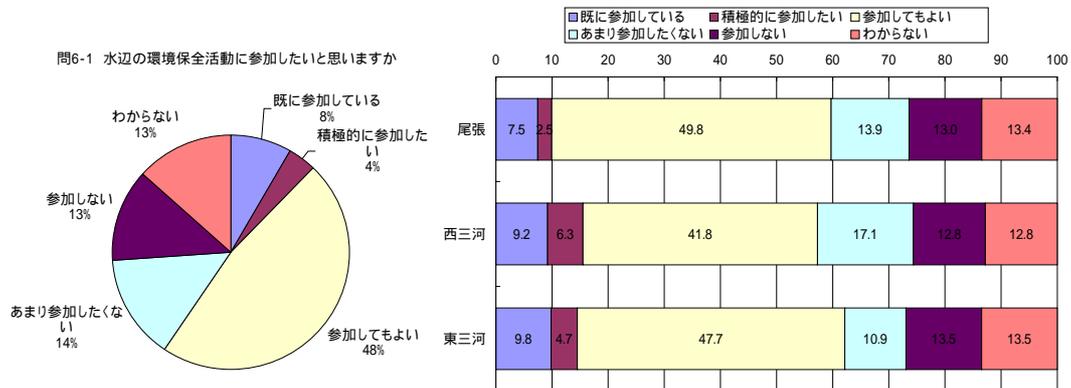


図 5-7 環境保全活動への参加

年齢別に見ると、既に活動に参加している人は高年齢層ほど多く、参加してもよいと考えている人は、30 歳代、60 歳代に多くなっている。

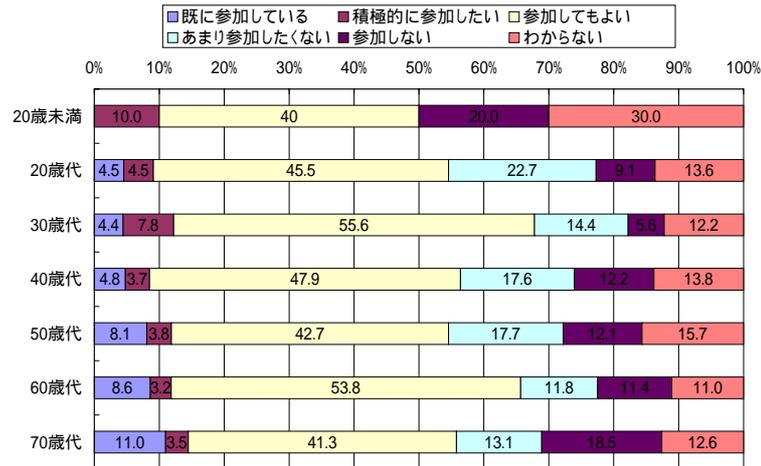


図 5-8 環境保全活動への参加（年齢別）

（3）環境保全活動参加への促進策について

環境保全活動に参加しやすくするため（3つまで回答を選択）には、「一緒に活動する仲間がいることが」が重要であると考えている人が最も多く、「行政などが住民による活動を支援すること」であると考えている人が続いた。

また、「手軽に参加できる水辺のイベント」や「活動をはじめるための情報入手」が重要であると考えている人も4割程度いる。一方で、「個々の活動についての情報交換」や「相談できる専門家の育成・派遣」は、あまり重視されておらず、活動を始めるきっかけとなる機会の提供や基本的な情報の提供や情報入手のためのシステムづくりにおいて行政に期待している人が多いといえる。

問6-2 環境保全活動の参加しやすくするためにはどうしたらよいと思いますか(3つまで選択)

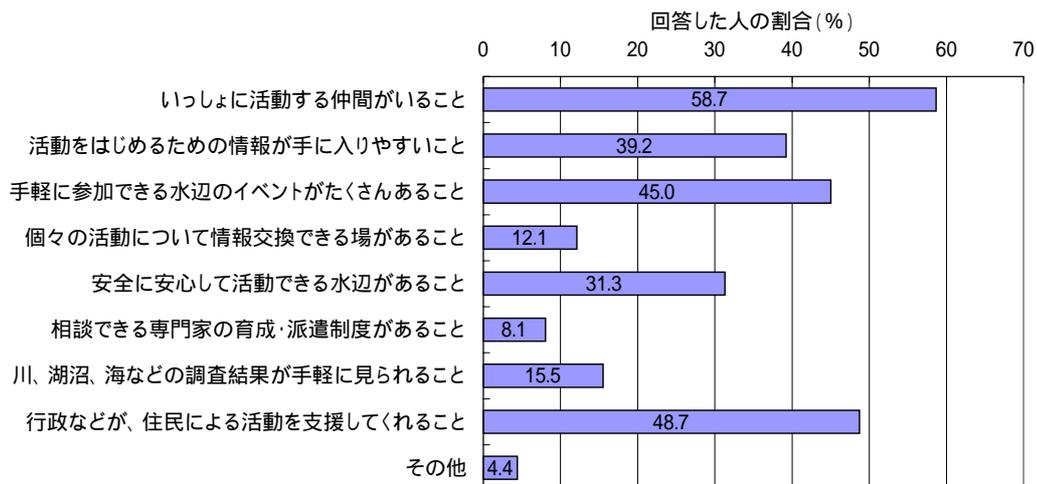


図 5-9 環境保全活動促進策

現在の活動状況別にみると、既に活動している人と「積極的に参加したい」及び「参加してもよい」人では、「いっしょに活動する仲間がいること」「行政などが、住民による活動を支援

してくれること」を挙げる人の割合が多いことが共通している。

一方、「活動をはじめるための情報が手に入りやすいこと」「手軽に参加できる水辺のイベントがたくさんあること」「安全に安心して活動できる水辺があること」などは、これから活動を参加しようとする人たちにより求められている事項である。

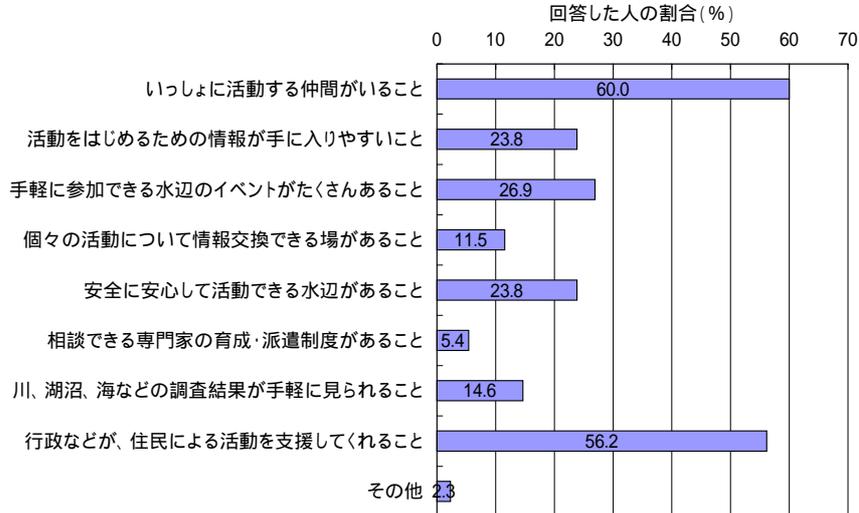


図 5-10 既に環境保全活動に参加している人の考える活動促進策

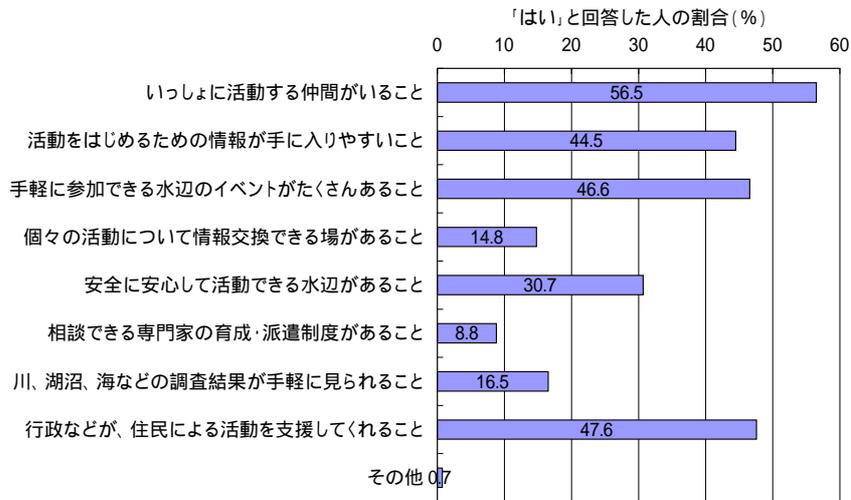


図 5-11 これから環境保全活動に参加しようとする人の考える活動促進策

6. 費用負担について

(1) 費用負担意志について

環境保全のための費用負担については、回答者のうち 57.9%の人（以下割合は、回答者のうち）が「多少の費用負担はやむを得ない」と感じている。また、「費用負担はしたくないが、水辺を良くする取組については参加してもよい」が 27.0%であった。「費用負担はしたくない」は 10.6%、「その他」は、4.5%であった。

地域別にみると、西三河地域において「多少の費用負担はやむをえない」と回答している人の割合が多くなっており、「費用負担はしたくないが、水辺を良くする取組については参加してもよい」とする人の割合が少ないが、これらの人々を合わせると、地域的な差はほとんどない。また、川へ行くか行かないかということも、ほとんど差がなかった。

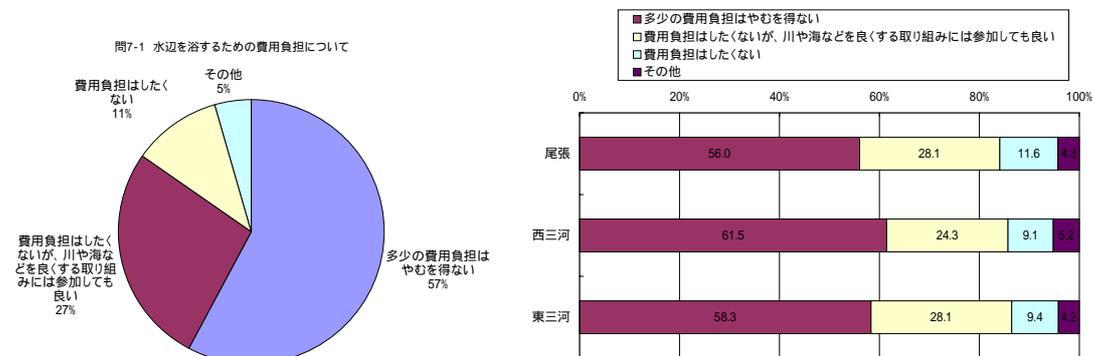


図 6-1 費用負担について

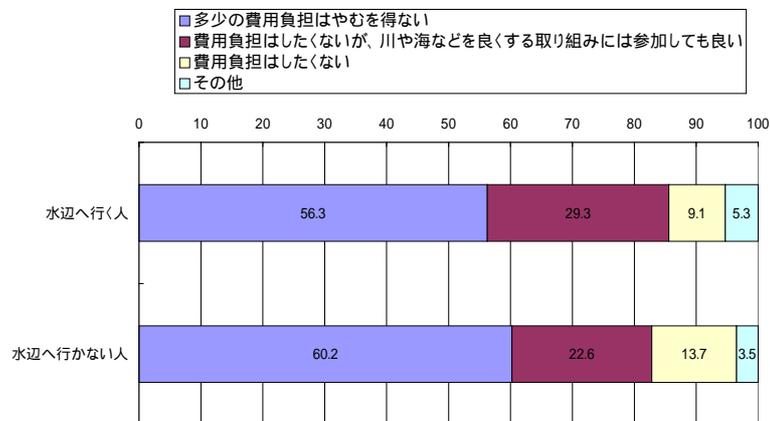


図 6-2 費用負担について(水辺へ出かけることの有無)

また、水辺の好きな理由別にみると、「水がきれい」を挙げた人の場合、「多少の費用負担はやむを得ない」と考えている割合が高いことがわかった。水質や水量の捉え方については、ほとんど差がなかった。

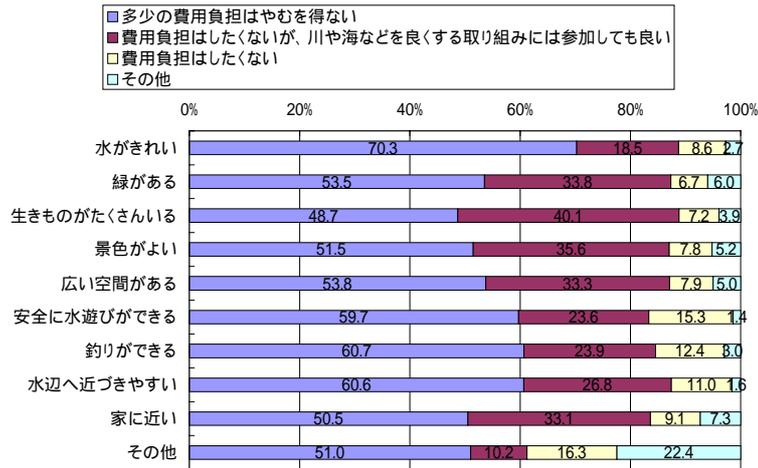


図 6-3 費用負担について（水辺の好きなところ別）

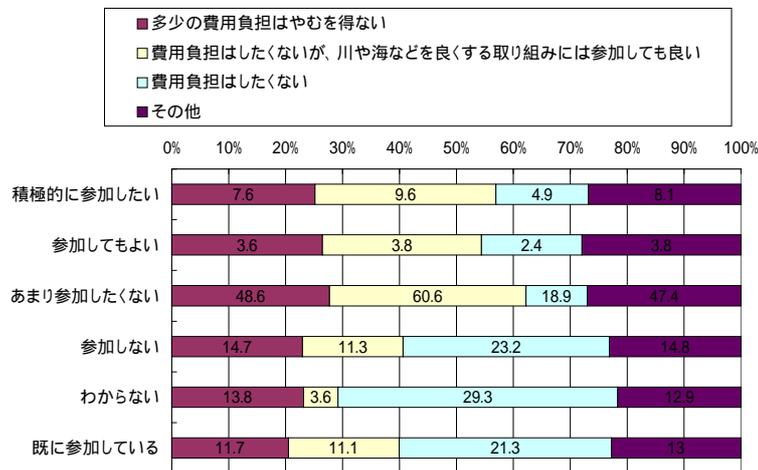


図 6-4 費用負担について（活動参加状況別）

（2）費用負担額について

水辺をよくするために、多少の費用負担はやむを得ないとした人に、環境保全の費用負担額について「100 円/月程度」「500 円/月程度」「1,000 円/月程度」「わからない」の4段階で尋ねた。「100 円/月程度」が回答者全体の 58.4%（以下、割合は回答者のうち）であった。次に、「500 円/月程度」が 26.2%、「1,000 円/月程度」は 6.7%、「わからない」は 8.7%であった。

水辺の好きな理由別にみると、「安全に水遊びができる」「水がきれい」を挙げた人は、金額的に「わからない」と答えた人が多くなっている。

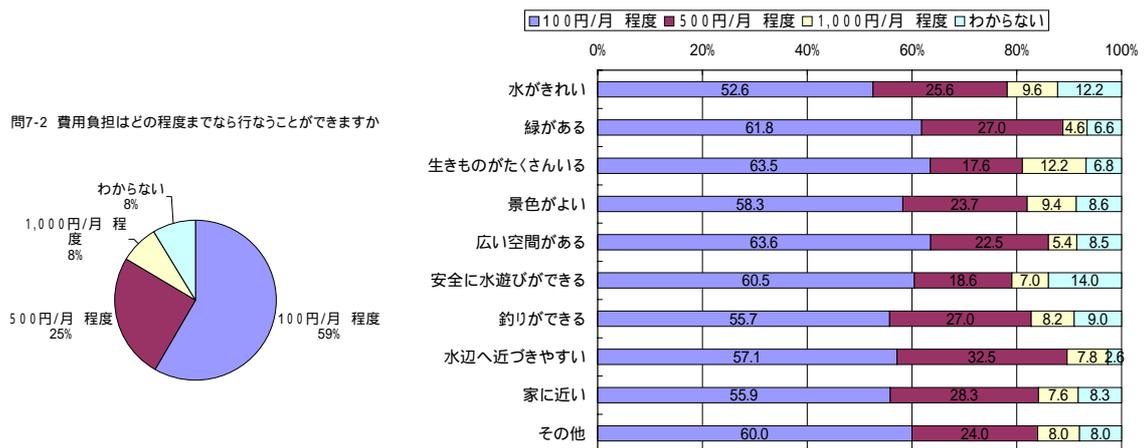


図 6-5 費用負担額

7. まとめ

- 活動への参加状況及び意志を見ると、若干の差が見られ、尾張地域では「既に参加している」「積極的に参加したい」の割合が低いかわりに、「参加しても良い」の割合が高くなっている。
- 「手軽に参加できる水辺のイベント」や「活動をはじめるための情報入手」が重要であると考えている人も4割程度いる。活動を始めるきっかけとなる機会の提供や基本的な情報の提供や情報入手のためのシステムづくりにおいて行政に期待している人が多いといえる。
- 環境保全活動への参加は、全体で6割の人に可能性があるといえる。年齢別にみると、30歳代、60歳代に「参加してもよい」と考える人が多い。
- 環境保全活動に参加しやすくするために、既に活動をしている人は「いっしょに活動する仲間がいること」「行政などが、住民による活動を支援してくれること」を挙げている。これから環境保全活動に参加しようとする人は、上記2項目の他に、「手軽に参加できる水辺のイベントがたくさんあること」「活動をはじめるための情報が手に入りやすいこと」「安全に安心して活動できる水辺があること」を挙げている。
- 費用負担意志及び費用負担額は、環境保全の取組や活動状況とあまり関連がなかった。そのため、県民に費用負担を求める場合には、県民全体に対して理解を得る努力をする必要がある。

身近な川や海などについてのアンケート調査のお願い

～ あいち水循環再生基本構想策定に向けて～

平成 17 年 8 月

愛 知 県

日ごろから、本県の環境行政にご協力いただきありがとうございます。

さて、愛知県では、川や海などの水の汚れや水辺を改善し、県民の皆さまにとって親しみやすい川や海とするためには、どうしたらよいかを検討しています。

このアンケート調査は、この取組みの基礎資料とするため、県民の皆さまにとって身近な川や海などについて、日頃感じられていることをお聞きするものです。

お忙しいことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、同封の「身近な川や海などについてのアンケート調査票」により、下記にしたがってご回答いただきますようお願いいたします。

ご記入は、ご家族のどなたでもかまいませんが、性別や年齢は、ご記入された方についてお答えください。

なお、このアンケート調査は、電話帳から無作為で抽出した方へお送りしています。

この調査でお答えいただいた内容については、統計データとして処理し、他の目的には使用いたしません。また、この調査は無記名のため、個人のプライバシーが侵されることは一切ありません。

記

1 ご記入にあたってのお願い

- ・ ご記入は、鉛筆又はボールペンでお願いします。
- ・ ご回答は、別紙 回答用紙に、あてはまる番号を記入してください。
- ・ 特に指定のない場合は、1つだけ選んでお答えください。
- ・ ご回答が「その他」の場合は、番号を記入するとともに、その内容を記入してください。

2 回収方法

回答用紙を同封いたしました返信用封筒に入れ、平成17年9月9日(金)までにご投函ください。

3 お問い合わせ先

ご記入にあたって、わからない点がありましたら愛知県環境部水環境課 調査・生活排水グループまでお問い合わせください。

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
愛知県環境部水環境課
調査・生活排水グループ(渡邊、牧)
電話 052-954-6220(ダイヤル)
FAX 052-961-4025

身近な川や海などについてのアンケート調査票

問1 あなたの性別、年齢などについてお答えください。

1-1 性別

1 男 2 女

1-2 年齢

1 20歳未満 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳以上

1-3 居住地

あなたのお住まいの市町村名をお答えください。
(市町村名を記入してください。)

問2 あなたは、散歩や水遊びなどで、川や海などに行くことがありますか。
(年に数日程度の場合も含まれます。)

1 行く 2 行かない

問2で、1「行く」と回答した方は

問3へお進みください。

2「行かない」と回答した方は

問4へお進みください。

問3 問2で「川や海などに行く」と回答した方にお聞きします。

3-1 どの程度の頻度でそこへ行きますか。

1 ほぼ毎日 2 週に数日程度 3 月に数日程度 4 年に数日程度

3-2 それは、どのようなところですか。(主なものを1つ選んでください)

1 大河川(木曽川、庄内川、矢作川、豊川) 2 中小河川(1以外の)
3 海 4 湖沼 5 ため池 6 水路 7 その他()

3-3 そこで何をしますか。(主なものを1つ選んでください)

1 散歩 2 水遊び 3 釣り 4 河川敷などでのスポーツ
5 バードウォッチング 6 清掃 7 その他()

3-4 そこは、あなたのお住まいからどれくらいの距離にありますか。

1 歩いて行ける程度 2 自転車でいける程度 3 車でいける程度
4 その他()

3-5 そのどのようところがよいと思いますか。(2つまで選んでください)

- | | | | |
|-------------|--------------|---------------|---------|
| 1 水がきれい | 2 緑がある | 3 生きものがたくさんいる | 4 景色がよい |
| 5 広い空間がある | 6 安全に水遊びができる | 7 釣りができる | |
| 8 水辺へ近づきやすい | 9 家に近い | 10 その他() | |

3-6 また、不満があるとしたらそれはどのようところですか。(2つまで選んでください)

- | | | | |
|----------------------|-------------|---------------|--|
| 1 水が汚れている | 2 ごみが落ちている | 3 水の流れが少ない | |
| 4 緑が少ない | 5 生きものが少ない | 6 水遊びをするには危ない | |
| 7 岸辺がコンクリートなどで覆われている | 8 水辺に近づきにくい | | |
| 9 家から遠い | 10 特にない | 11 その他() | |

3-7 その水質をどのように感じていますか。

- | | | |
|------------|---------|-----------|
| 1 非常にきれい | 2 ややきれい | 3 やや汚れている |
| 4 非常に汚れている | 5 わからない | 6 特に関心はない |

3-7-1 問3-7で3「やや汚れている」、4「非常に汚れている」と答えた方にお聞きます。
「汚れている」と感じた理由は、次のうちどれですか。(1つ選んでください)

- | | | |
|-----------------|------------|---------|
| 1 水が濁っている | 2 ごみが浮いている | 3 悪臭がする |
| 4 川底がきたない | 5 魚が少ない | |
| 6 赤潮、アオコが発生している | 7 その他() | |

3-8 その現在の水量(流れ、水位)をどのように感じていますか。

- | | | | | | |
|---------|------|------|-------|----------|---------|
| 1 非常に多い | 2 多い | 3 普通 | 4 少ない | 5 非常に少ない | 6 わからない |
|---------|------|------|-------|----------|---------|

3-8-1 問3-8で4「少ない」又は5「非常に少ない」と答えた方にお聞きます。
どの程度の水量だったらいいと思いますか。(1つ選んでください)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 水遊びができる | 2 魚などの生きものが生息する |
| 3 川の流れの幅が広い | 4 その他() |

3-9 あなたは、そこでの緑・生きもの・景観などについてどのようなことを感じますか。

(から について、それぞれ1つ選んでお答えください)

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| 水辺やその周辺の緑について | (1 豊かである 2 普通 3 少ない 4 特に感じない) |
| 水辺の生きものについて | (1 豊かである 2 普通 3 少ない 4 特に感じない) |
| 水辺の景観について | (1 良い 2 普通 3 悪い 4 特に感じない) |

次に問5へお進みください。

問4 問2で「川や海などに行かない」と回答した方にお聞きます。

あなたが、川や海などに行かないのはなぜですか。

次の中から主な理由を2つまで選んでください。

1	水が汚れている	2	緑が少ない	3	生きものが少ない	4	景観がよくない
5	安全に水遊びができない	6	レクリエーション施設がない				
7	水辺まで近づきにくい	8	家の近くに川や海がない				
9	行くきっかけがない	10	行く時間がない			11	関心がない
12	その他 ()						

次に問5へお進みください。

問5 川や海などを良くするために、あなたができると思うことは何ですか。

次の1から9のうち、できると思うものの番号をすべて選んで記入してください。

(1から8以外にあれば、9その他を選び、具体的にその内容を記入してください。)

1	台所や風呂などからの生活排水の汚れを減らす(水をきれいにするため)
2	川や海などでごみ拾いをする(水辺をきれいにするため)
3	風呂水の再利用や、蛇口をこまめに閉めるなどの節水をする(川などの水量を保つため)
4	雨水をためて庭などの散水に利用する(川などの水量を保つため)
5	家の雨水桝を浸透性のものに取り替える(川などの水量を保つため)
6	間伐など山の手入りに協力する(川などの水量を保つため)
7	子どもに川や海などの大切さを教える(水への関心を高めるため)
8	水辺での催し(行事、祭りなど)に参加すること(水への関心を高めるため)
9	その他 ()

問6 あなたの川や海などでの活動についてお聞きます。

6-1 あなたは、川や海などでの清掃や水生生物の観察などの環境保全活動に参加したいと思いませんか。

1	既に参加している	2	積極的に参加したい	3	参加してもよい
4	あまり参加したくない	5	参加しない	6	わからない

6-2 あなたが川や海などでの環境保全活動に参加しやすくするためにはどうしたらよいと思いますか。
(3つまでお答えください)

- 1 いっしょに活動する仲間がいること
- 2 活動をはじめための情報が手に入りやすいこと
- 3 手軽に参加できる水辺のイベントがたくさんあること
- 4 個々の活動について情報交換できる場があること
- 5 安全に安心して活動できる水辺があること
- 6 相談できる専門家の育成・派遣制度があること
- 7 川、湖沼、海などの調査結果が手軽に見られること
- 8 行政などが、住民による活動を支援してくれること
- 9 その他()

問7 川や海などを良くするための費用負担についてお聞きします。

7-1 川や海などを良くするため、例えば、水源の森を保全するための費用を、水を利用する人たちで負担するといったような取り組みが行われています。
このことについて、あなたはどのように思いますか。
次の中から1つ選んでください。

- 1 多少の費用負担はやむを得ない
- 2 費用負担はしたくないが、川や海などを良くする取り組みには参加してもよい
- 3 費用負担はしたくない
- 4 その他()

7-2 問7-1で、「多少の費用負担はやむを得ない」と回答した方にお聞きします。
費用負担は、どの程度までなら行うことができますか。(一人あたり)

- 1 100円/月程度 (100円で、川の草やごみを10kgくらい処分できます。)
- 2 500円/月程度
- 3 1,000円/月程度
- 4 わからない

ご意見・ご感想などありましたらご記入ください

ご協力ありがとうございました。

回答用紙（この用紙のみ、返信用封筒に入れて投函して下さい）

それぞれの問いについて、あてはまる回答の番号をお書き下さい。

問 1 - 1	問 1 - 2	問 1 - 3 市町村名をお書き下さい

問 2	1 「行く」と回答した方は 問 3 へお進みください。 2 「行かない」と回答した方は 問 4 へお進みください。

問 3 - 1	問 3 - 2 「その他」の場合、内容を書いて下さい	問 3 - 3 「その他」の場合、内容を書いて下さい	問 3 - 4 「その他」の場合、内容を書いて下さい

問 3 - 5 2つまで選んで下さい	「その他」の場合、内容を書いて下さい	問 3 - 6 2つまで選んで下さい	「その他」の場合、内容を書いて下さい

問 3 - 7	問 3 - 7 - 1 「その他」の場合、内容を書いて下さい	問 3 - 8	問 3 - 8 - 1 「その他」の場合、内容を書いて下さい

問 3 - 9		

問 5 へお進みください。

問 4	
2つまで選んで下さい	「その他」の場合、内容を書いて下さい

問 5 へお進みください。

問 5						
できると思うもの全ての番号を書いてください。						
						「その他」の場合、内容を書いて下さい

問 6 - 1	問 6 - 2 3つまで選んで下さい	「その他」の場合、内容を書いて下さい

問 7 - 1	問 7 - 2
「その他」の場合、内容を書いて下さい	

ご意見・ご感想などありましたらご記入ください。
